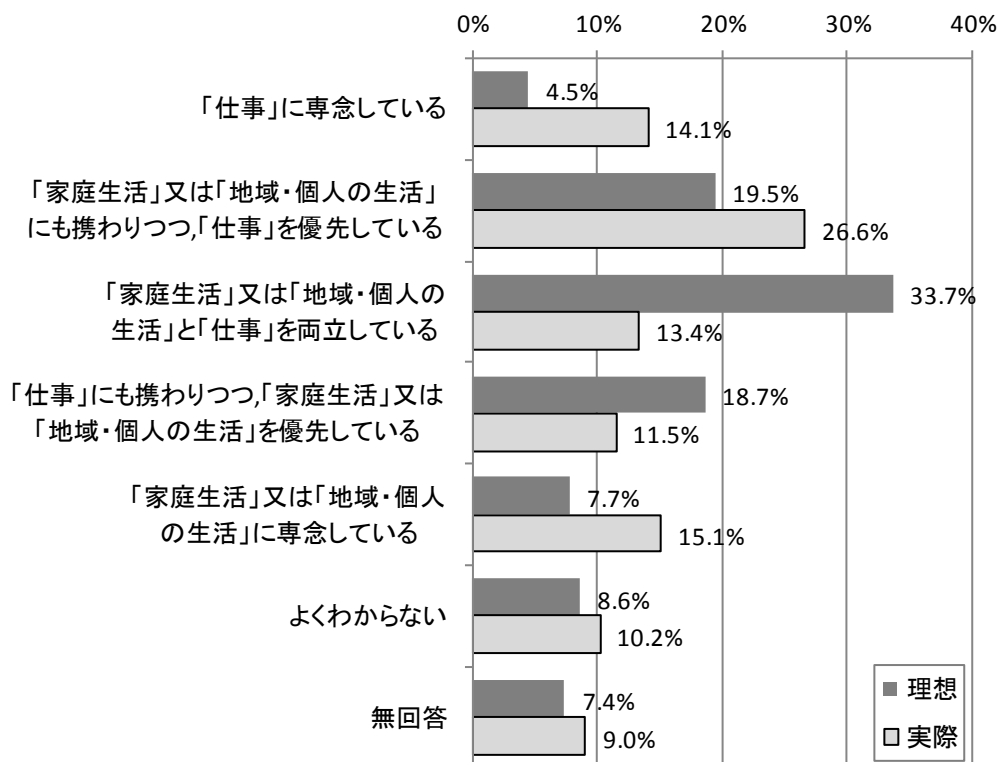


【3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について】

問9 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の状況において、理想はどうあるべきだと思いますか。また、実際はどうですか。（現在、仕事を行っていない方は今後のお考えをお答えください。○はそれぞれ1つ）

「理想」では、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立している」が33.7%と最も多く、次いで「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している」19.5%、「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先している」18.7%となっています。

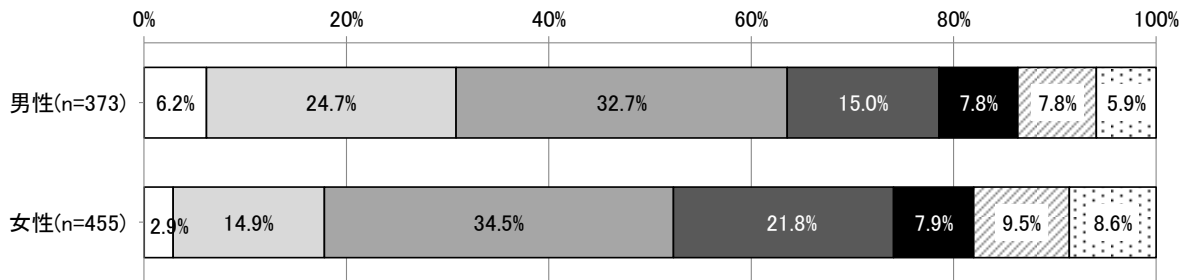
「実際」でも、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立している」が26.6%と最も多く、次いで「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念している」15.1%、「仕事」に専念している」4.5%、「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先している」11.5%、「よくわからない」10.2%、「無回答」9.0%となっています。



項目	理想		実際	
	回答数	構成比	回答数	構成比
「仕事」に専念している	38	4.5%	120	14.1%
「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している	166	19.5%	227	26.6%
「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立している	287	33.7%	114	13.4%
「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先している	159	18.7%	98	11.5%
「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念している	66	7.7%	129	15.1%
よくわからない	73	8.6%	87	10.2%
無回答	63	7.4%	77	9.0%
合計	852	100.0%	852	100.0%

【性別（理想） クロス集計】

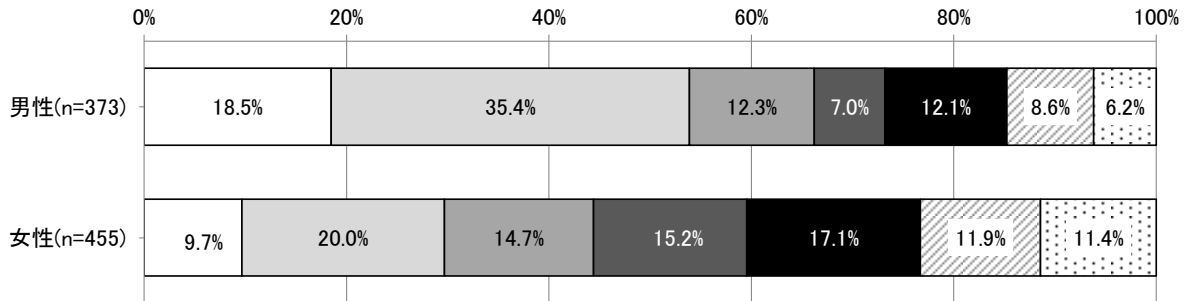
理想を性別で比較すると、男性で「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している」が9.8ポイント多く、女性では「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先している」が6.8ポイント多くなっています。



- 「仕事」に専念している
- 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している
- 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立している
- 「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先している
- 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念している
- よくわからない
- 無回答

【性別（実際） クロス集計】

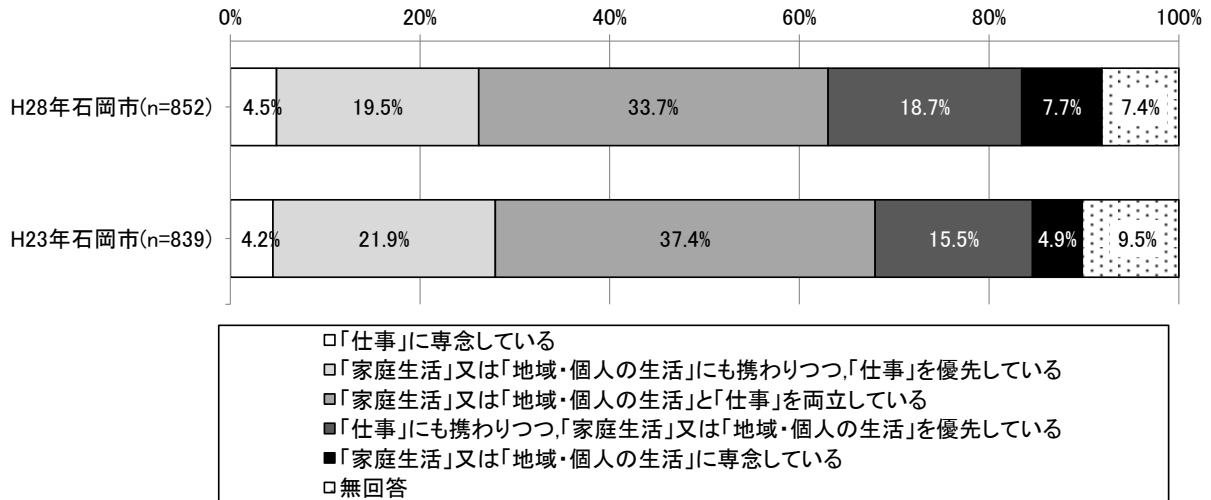
実際を性別で比較すると、男性では「仕事」に専念している」で8.8ポイント、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している」で15.4ポイント多くなっています。



- 「仕事」に専念している
- 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している
- 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立している
- 「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先している
- 「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念している
- よくわからない
- 無回答

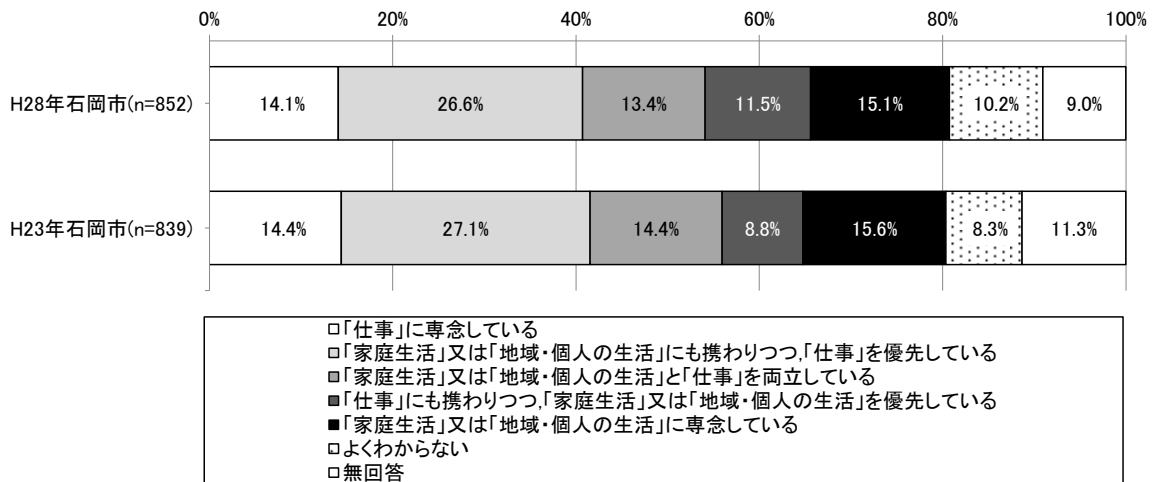
【経年（理想） クロス集計】

理想を経年で比較すると、平成23年より「家庭生活」又は「地域・個人の生活」にも携わりつつ、「仕事」を優先している」がやや減少し、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立している」がやや増加しています。



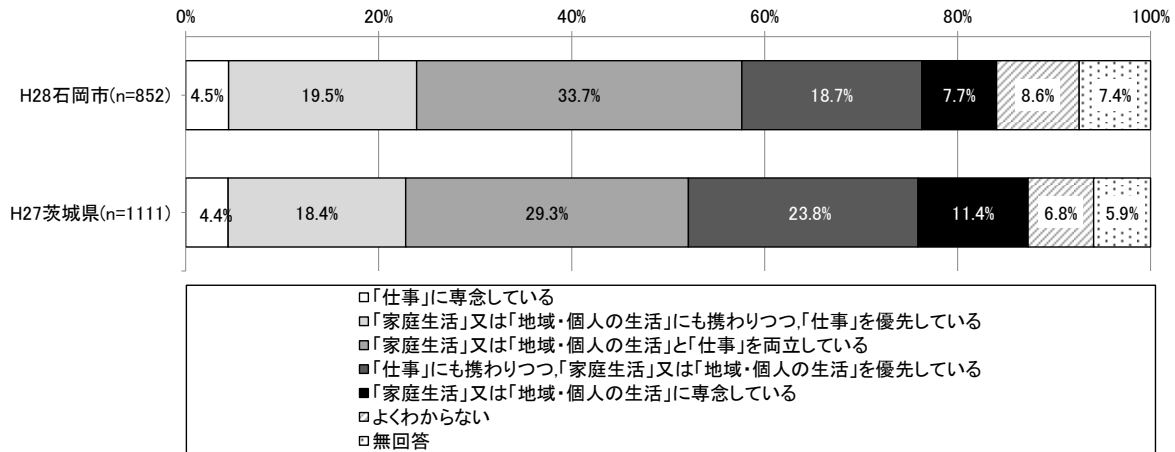
【経年（実際） クロス集計】

実際を経年で比較するとあまり変化がない結果となっています。



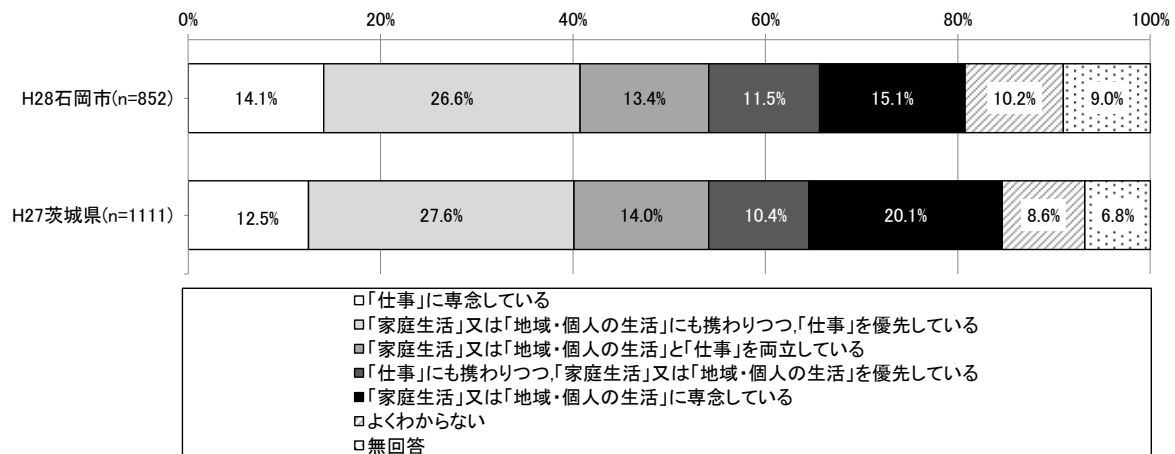
【茨城県（理想） クロス集計】

理想を茨城県と比較すると、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」と「仕事」を両立している」がやや石岡市が多く、「仕事」にも携わりつつ、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を優先している」が少なくなっています。



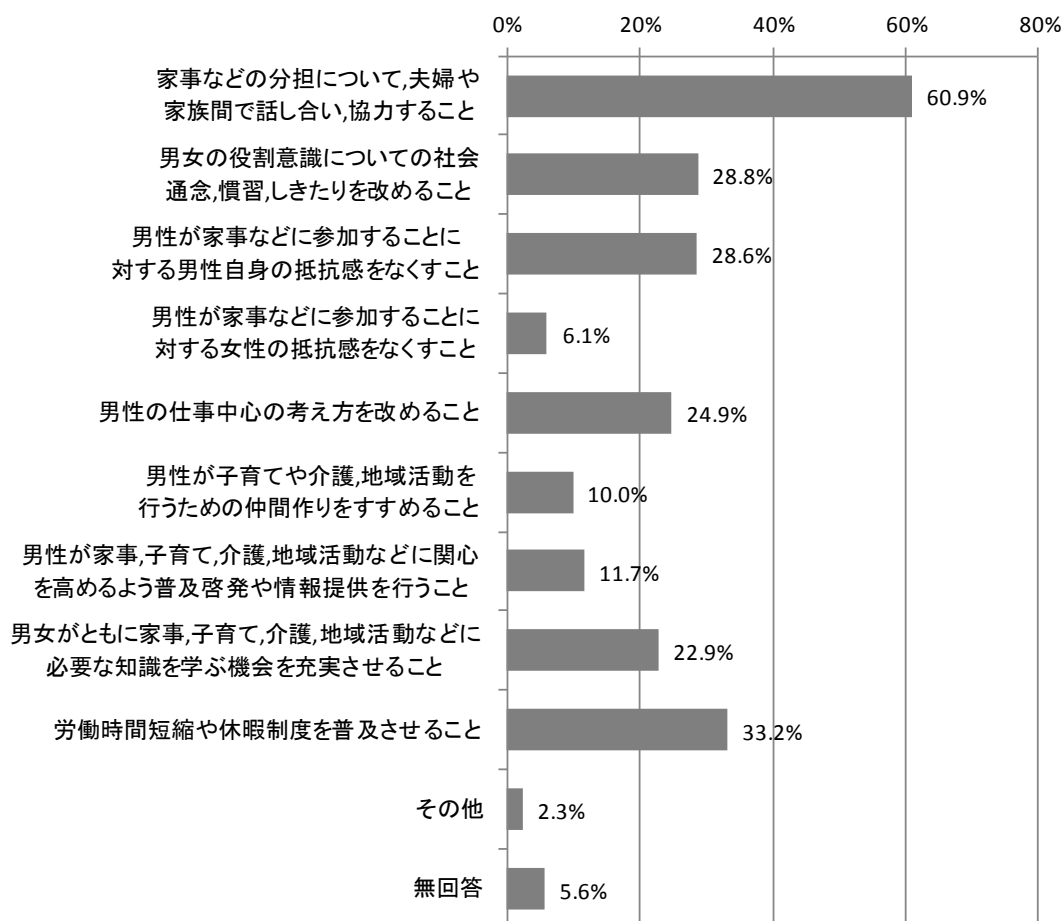
【茨城県（実際） クロス集計】

実際を茨城県と比較すると、「家庭生活」又は「地域・個人の生活」に専念している」が茨城県よりも少なくなっています。



問 10 男性が女性とともに家事，子育て，介護，地域活動に積極的に参加していくためには，どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

「家事などの分担について，夫婦や家族間で話し合い，協力すること」が60.9%と最も多く，次いで「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」33.2%，「男女の役割意識についての社会通念，慣習，しきたりを改めること」28.8%，「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」28.6%，「男性の仕事中心の考え方を改めること」24.9%となっています。



項目	回答数	構成比
家事などの分担について,夫婦や家族間で話し合い,協力すること	519	60.9%
男女の役割意識についての社会通念,慣習,しきたりを改めること	245	28.8%
男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	244	28.6%
男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	52	6.1%
男性の仕事中心の考え方を改めること	212	24.9%
男性が子育てや介護,地域活動を行うための仲間作りをすすめること	85	10.0%
男性が家事,子育て,介護,地域活動などに関心を高めるよう普及啓発や情報提供を行うこと	100	11.7%
男女がともに家事,子育て,介護,地域活動などに必要な知識を学ぶ機会を充実させること	195	22.9%
労働時間短縮や休暇制度を普及させること	283	33.2%
その他	20	2.3%
無回答	48	5.6%
回答者数	852	